



Toshima Fukushi

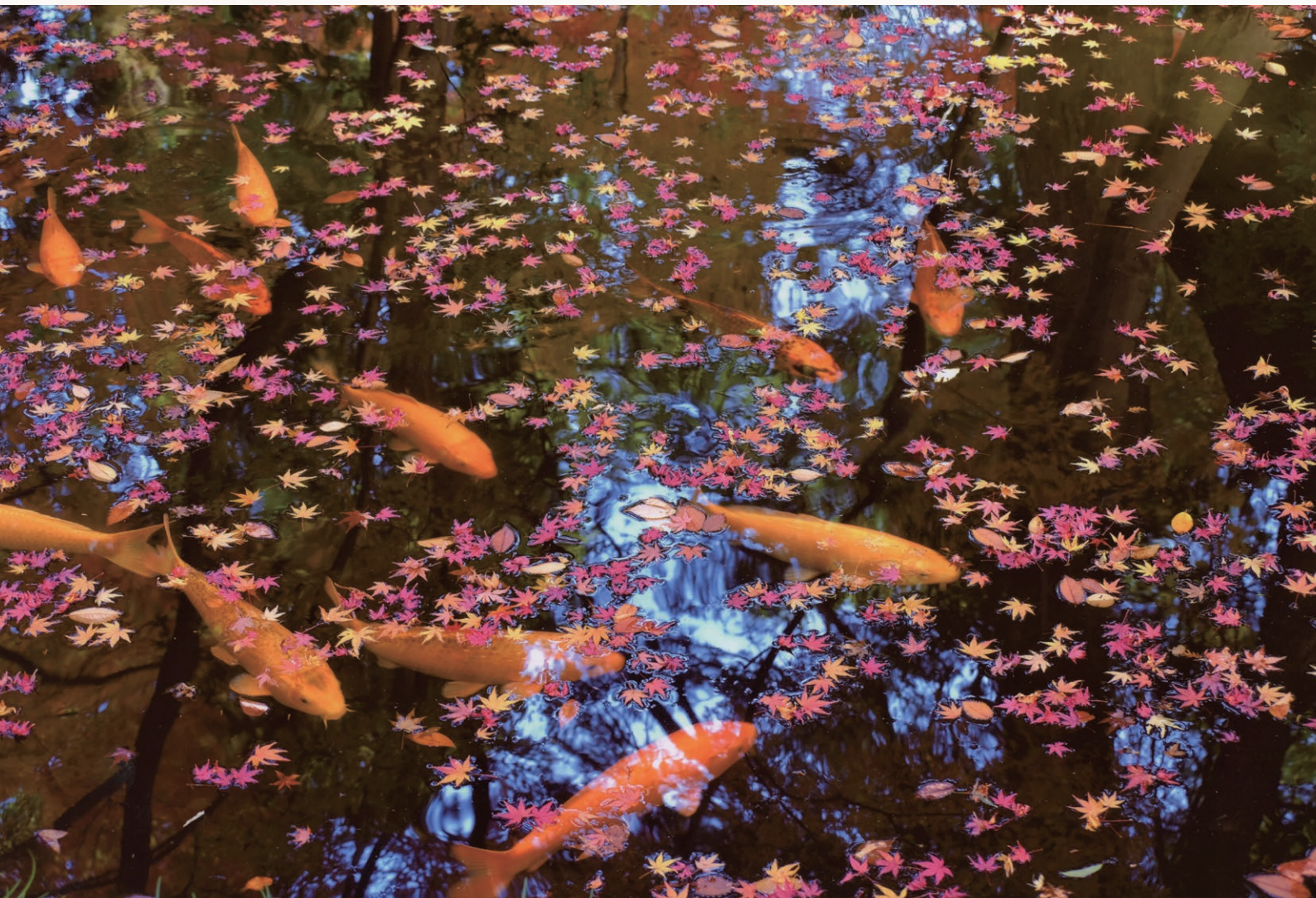
豊島福祉

今月の内容

- 令和5年度 重点取組事業報告
- 令和5年度 決算概要
- 社協会費はこんな活動につながっています。
- 防災講座
- 備えてあんしん支援事業「はれやか」
- 暮らし・しごと相談支援センター
- 広報委員の活動 施設紹介
- ご寄附をありがとうございます

2024
No.279 秋号

「水面の紅葉を見に来た鯉（埼玉県新座市平林寺）」 写真…千葉 光雄



令和5年度 重点取組事業報告

豊島区民社会福祉協議会が令和5年度に重点取組事業として掲げた5つの事業の取り組みについてご報告します。

1. 成年後見制度利用促進に関する取り組み

判断能力が十分でない高齢者や障がいのある方々の権利を守るため、その人に必要な支援や制度を適切に利用できるよう「権利擁護支援方針検討会議」や「成年後見等利用促進協議会」を立ち上げ、支援体制やネットワークの構築に取り組みました。

また、個別事案を通じて、関係機関との連携強化や制度の理解を深めることで、成年後見制度を含む、権利擁護支援制度の利用の促進につながりました。

2. 終活サポート事業に関する取り組み

元気なうちから終活に取り組むことの重要性を伝え、「終活あんしんセンター」を多くの区民に活用してもらえるよう、講座や講演会を計11回開催し、「終活」や相談窓口の積極的な広報を行いました。

また、病気や事故で意思表示できなくなった時に備えて、終活に関連する情報をあらかじめ登録しておく「終活情報登録事業」についても広報を強化して利用者を増やすとともに、全国的に関心が高まっている「身寄りのない高齢者の問題」などについて、自治体から視察（265件）を受け、協力しました。

更に、単身高齢者を対象とした見守りや入退院支援、死後事務に関する新規事業の検討を進めました。

3. 地域共生社会の実現へ向けた取り組み

コミュニティソーシャルワーク（CSW）事業、自立相談支援事業、生活支援体制整備事業、ボランティアセンター、在宅福祉サービス事業等の部署を同じ課に集約することで、より有機的な連携が図れるようになり、制度の狭間等で困難な課題を抱える区民に対する相談支援や、あらゆる世代や属性における孤独・孤立を予防するための地域支援活動に取り組むことができました。

4. 災害からみえた課題への取り組み

70周年を機に、これまでの三社協（和光市・箕輪町）による災害時相互応援協定に新たに秩父市が加わることで四社協の協定となり、また、東京青年会議所とも協定を結ぶなど、災害発生時に災害ボランティアセンターに寄せられる様々なニーズ等へ対応するための体制を強化しました。

また「令和6年能登半島地震」において、東社協を通じて職員を穴水町災害ボランティアセンターに派遣して、被災者の支援を行うとともに、災害ボランティアセンター運営に係る課題や災害後に生じる様々な生活課題等について把握し、区内での支援体制構築のために必要な知見を深めることができました。

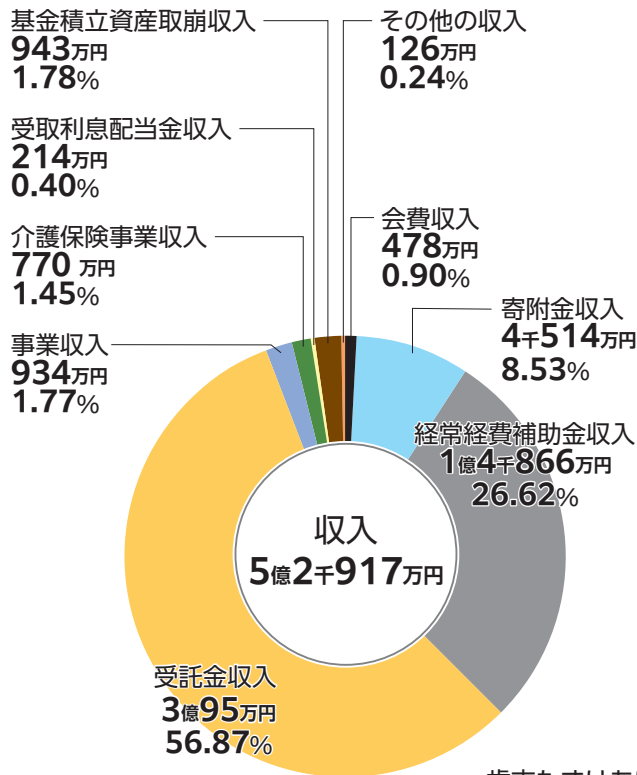
5. 安定した法人経営に向けた基盤整備

安定した法人経営を目指し、職員定数の検討を行いました。また、事業に活用できる寄附の受領をはじめ、会員増強を目的とした「社協のつどい」を開催するなど、新たな事業展開を進め、自主財源の確保に取り組みました。

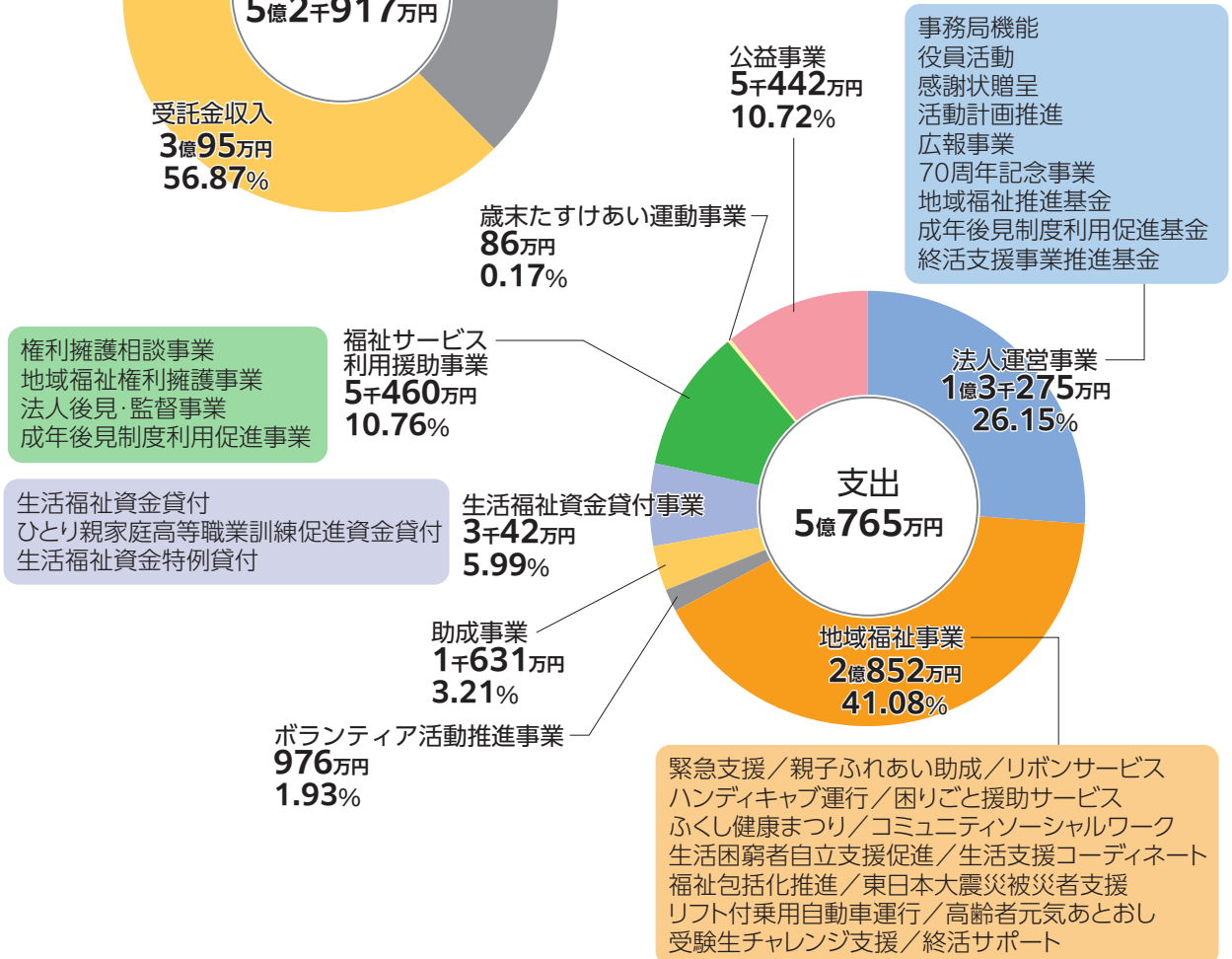
令和5年度 決算概要

	令和5年度決算額	令和4年度決算額	増減
前年度繰越金	156,631,765	142,923,707	13,708,058
収入総額	529,170,443	494,859,224	34,311,219
支出総額	507,650,456	481,151,166	26,499,290
支払資金残高	178,151,752	156,631,765	21,519,987

収入内訳 (科目別)



支出内訳 (事業区分別)



家事援助等の支援



経験を生かした支援



社協会費はこんな活動に

つながっています。

サロンや地域の活動の支援



終活等の相談支援



車いすの貸し出し



ボランティアに関する相談・福祉教育



当社会福祉福祉協議会でもご支援・ご協力いただける新規の会員の募集を、職員全体で取り組んでいます。皆さまのお近くに当社協の事業にご関心がある方がいれば、お気軽に総務課までお問い合わせください。 **総務課：03-3981-2930**

防災講座に行ってきました

令和6年9月7日、昨年度の70周年を機に新しく災害時相互応援協定として加わった秩父市社協主催の防災講座に参加しました。

埼玉県を中心に活動をされている復興ボランティアチームの方の講義の後、他の参加者の方とのグループワークにて、災害に遭った際の対応についての意見交換を行いました。社協職員としてあるべき姿と、災害時に起こり得る被災者の感情を汲み取りながら、社協としての立場として何ができるか、考える機会をいただきました。

今後、豊島区でも災害時相互応援協定の結びつきを続けていきながら、災害時に備えた取り組みを考えていく予定です。



床下浸水を想定した泥出し体験を行いました

能登半島地震被災地視察に行ってきました

令和6年9月18日から20日まで、城西ブロック（練馬区、板橋区、杉並区、中野区、豊島区）の社会福祉協議会合同で、能登半島地震被災地視察に行ってきました。震災の爪痕がまだ多く残っており、改めて被害の大きさを実感しました。それと同時に復興に向けての取組みも見ることができ、災害時だからこそ、人と人がつながり合う「コミュニティ支援」が必要であり、平時からのご近所同士のつながりづくりが災害時にもお互いを助け合う大きな力になる、ということを経験しました。豪雨被害も受けている、能登地方ですが、豊島区でも取り組めることを引き続き考えていきたいと思っています。



城西ブロックの集合写真です

備えてあんしん支援事業「はれやか」



「はれやか」は、単身の高齢の方を対象に、ゆるやかな見守りと入院した時やお亡くなりになった時の手続きなどのサポートを行う事業です。



対象となる方の要件

下記のほか、いくつか要件があります。

- ・65歳以上で、豊島区に住民票があり、実際の住まいも豊島区の方
- ・単身世帯で子や孫のいない方
- ・住民税非課税世帯、もしくは、課税世帯で合計所得が160万円以下
- ・流動資産（預貯金、有価証券など）が3,000万円以下の方
- ・契約時に、預託金を一括で納めることができる方

など

サービスの内容

1. 基本サービス

- ①見守りサービス A プラン
定期的な電話、訪問による見守り
- ②見守りサービス B プラン
A プランに加えて、通信機能付電球を使用した見守り



2. 選択サービス

※①または②のいずれかの利用が必須です。

- ①入退院等サポート
入退院等の付添い、手続きの同席、預託金による入院費の支払い等
- ②死後の手続きサポート
葬儀（火葬式）の手配や立会い、納骨、家財処分（賃貸住宅のみ）等
- ③賃貸住宅の手続きサポート
入居や更新手続きの同席、緊急連絡を受けた時の安否確認等

ご相談・お問合せは

地域福祉課 権利擁護支援担当

電話 03-3981-2940

FAX 03-3981-2946

メール siensitu@a.toshima.ne.jp

※窓口での相談は事前予約制です。
まずはお電話にてお問合せ下さい。

各種費用

契約料（22,000円）、年度会費（13,200円）、利用料（利用内容や時間による）がかかります。また、入院費等の支払い、葬儀や納骨、家財処分等に充当する預託金をお預かりします。



左記の二次元コードまたは、豊島区民社会福祉協議会のホームページから、備えてあんしん支援事業の案内動画を視聴できます。



くらしや仕事でお困りのことについて、ご相談ください くらし・しごと相談支援センター



仕事が見つからない
仕事が続かない

仕事に関する希望などをお聞きし、ご本人の状況にあった就労支援をします。



生活を立て直したい

収支のバランスの取れた家計をめざし、家計改善を支援します。借金がある場合には、債務整理のアドバイスも行います。



就職するのが不安

仕事体験や見学、コミュニケーションセミナーなど、やってみたいという気持ちを第一に、働く力を高める支援をします。



家賃の支払いに困っている

離職等により家賃の支払いにお困りの方に、住居確保給付金(上限あり)を支給します。※一定の求職活動・資産・収入要件があります。



無料の学習支援教室を紹介してほしい

地域の学習支援活動などを紹介します。



相談からの流れ

ご相談のご連絡



あなただけの支援プランを一緒に作成します

寄り添いながら支援します

支援中もプランの確認・修正をします

支援後もフォローします



※「住居確保給付金の支給」など一部の事業については、一定の資産・収入に関する条件を満たしている方が対象です。
※生活保護に関するご相談は、生活福祉課(03-3981-1842)・西部生活福祉課(03-5917-5762)へのお問い合わせとなります。
※区からの委託を受けて運営をしています。

おひとりでお悩み、まずはご相談ください。
一緒に解決していきましょう。

お問い合わせ 03-4566-2454 (予約制)

受付時間 9:00~16:00(月~金) 祝日・年末年始を除く
窓口にお越しの際は事前にご連絡ください。
〒171-8422 豊島区南池袋2-45-1 豊島区役所4階

就労継続支援 B 型 BaseCamp

豊島区要町 3 丁目 22-10 星野館ビル 401 TEL 03-5926-7418
東京メトロ有楽町線 / 副都心線 千川駅から徒歩 1 分

令和 6 年 7 月 2 日（火）、就労継続支援 B 型『BaseCamp』を見学に行きました。就労継続支援 B 型とは、雇用契約は結ばず、障害や体調に合わせて、支援を受けながら働ける福祉的な就労の場です。ここ『BaseCamp』では、精神疾患などを経験してきたメンバーが集い、自分たちの生活について語り合うことから創作や発信を行っています。



当日は、委員もメンバーとともに、自己紹介をして、その日の気分や体調などを伝え合うことからスタート。活動途中では、メンバーの困りごとについてみんなで考えました。周りの人の話し声が、自分のことを言っているのではないかと…悪口ではないかと…と悩んでしまう。そんな困りごとに対して、どうしたらいいか、委員も含めアイデアを出し合いました。気持ちを語ったり、文字やイラストにしたり、即興で演じたり、いろいろな表現方法でカタチにしていく姿が印象的でした。悩みを伝え合うことから始め、助け合うことを考えることで、日々をより良くしていこうとする様子が見られました。



活動頻度は、週 1 回、午前中など、人によりさまざまです。活動内容は、「精神科病院の退院支援（動画配信）」「イベントの実施」「看護福祉系学校でのゲストスピーカー」「オリジナルグッズの制作・販売」等、行っています。さらに知りたい方は、見学可能ですので、まずはお問合せください。

見学を終えて 広報委員から一言

- 就労継続支援 B 型と聞いていたので、作業して賃金を得ると思っていたのですが、ここでは自分達の経験を生かし劇にしていました。利用している方の折り紙を“折りコップ”の型にして、それをくつ下やタオルなどプリントし販売していました。温かみのあるプリントです。
- 言葉を交わすことや顔を合わせて一緒に過ごすことの大切さをあらためて強く思いました。劇はお互いへの思いやりが根底にある演技で、心の葛藤の表現は素晴らしかったです。
- 各自役割分担があって、お互い尊重し合っている様子でした。
- ここでは、話の聴き方を大事にしているとのこと。話しかける時も、とても静かな語り口調で穏やかでした。とても居心地のよい場所に感じました。
- 精神疾患を抱えながらも就労支援を受け、一步一步前進する姿に感銘を受けました。生きづらさや苦しみを和らげる場として、必要不可欠な存在だと思いました。
- 朝の自分の気分、体調等を報告するのが良かったです。お互いに寄り添い、相手のことを考えてあげられたら、人間関係もスムーズになると思います。妄想に苦しむ方をみんなで救う方法を考える劇、様々な視点で意見を出し合う素晴らしい演劇で、私も感動しました。

ご寄附をありがとうございます

2024年4月1日～2024年7月31日

寄附金 合計額 964,850 円

ご寄附をいただいた皆様（敬称略）

熊井 笑美子

佐藤 千史

秋森 孝夫

旧補助 173 号線地権者の会 現みたけ通り

豊島区グラウンド・ゴルフ協会

(株)ペルレイ

東京包装容器リサイクル協同組合

匿名 1 件

物品による寄附

ご寄附をいただいた皆様（敬称略）

玉仙妃

寄附に関する
問合せ

豊島区民社会福祉協議会 総務課
TEL : 03-3981-2930

御篤志に心より感謝いたします

歳末たすけあい・地域福祉活動募金にご協力をお願いいたします

募金受付期間
募金に協力するには

12月1日から12月31日まで

- 町会・自治会による募金活動に協力
- 区民ひろば、東部・西部区民事務所、豊島区民社協等に設置の募金箱に募金
- 郵便振替で募金 □座番号：00190-0-421741

加入者名：社会福祉法人東京都共同募金会豊島地区協力会

※ゆうちょ銀行の窓口受付分は、取扱い手数料免除のため、窓口職員にお伝えください。

募金箱の設置にご協力いただける場合は、[豊島区民社協総務課 \(03-3981-2930\)](tel:03-3981-2930) までご連絡ください。

寄せられた募金は豊島区内で地域福祉に取り組む団体、町会・自治会等の助成、社協の事業（ハンディキャブ・ボランティア活動推進等）に活かされます。



リフト付自動車の運行

編集後記

今年の夏は毎日のように猛暑日が続く中、台風が多く甚大な被害もあり、これから毎年もっと多くの災害が予測されるのではないのでしょうか。その為にも各家庭での備蓄品の備えは必ずしておきましょう。

今回、広報委員会研修見学会の内容紹介があります。

(三輪 緑)

広報委員

松田 和江（長崎第二地区）

西森すみ子（巣鴨地区）

三輪 緑（池袋東地区）

戸澤 佳子（池袋西地区）

瀧本麻起子（高田地区）

杉本みち子（長崎第一地区）

柳澤 敬子（長崎第二地区）

小林 聖子（社協）

発行

2024年10月

社会福祉法人

豊島区民社会福祉協議会

豊島区東池袋1-39-2

豊島区役所 東池袋分庁舎3,4階

☎03-3981-2930

デザイン・印刷：大盛印刷株式会社

「豊島福祉」に広告掲載を希望する
個人・団体・企業を募集しています

(広告掲載料は3万円～)

詳しくは、[豊島区民社会福祉協議会](tel:03-3981-2930)へお問合せください